

【第3編 資産運用 2-46】投資でも注目される SDGs とは(17)中編
投資商品の判断基準 なぜ世界が結びつきを重視するのか

■目標 17 が必要とされる理由とは

SDGs の目標 1 から 16 を達成していくためには、
世界中の国々の各政府、国民、技術者、研究者、地域、企業、団体、個人など、
あらゆるものたちが協力しあい、結束する意識を強めることで、
SDGs に取り組むことが必要だと考えられるから

↓

パートナーシップ

■パートナーシップで目標を達成しよう

→持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、
グローバル・パートナーシップを活性化する

～技術～

①科学技術イノベーション（STI）及びこれらへのアクセスに関する南北協力、
南南協力及び地域的・国際的な三角協力を向上させる

②また、国連レベルをはじめとする既存のメカニズム間の調整改善や、
全世界的な技術促進メカニズムなどを通じて、
相互に合意した条件において知識共有を進める

③開発途上国に対し、譲許的・特恵的条件などの相互に合意した有利な条件の下で、
環境に配慮した技術の開発、移転、普及及び拡散を促進する

④後発開発途上国のための技術バンク及び

科学技術イノベーション能力構築メカニズムを完全運用させ、
情報通信技術（ICT）をはじめとする実現技術の利用を強化する

～キャパシティ・ビルディング（能力構築）～

⑤全ての持続可能な開発目標を実施するための国家計画を支援するべく、
南北協力、南南協力及び三角協力などを通じて、
開発途上国における効果的かつ的をしい能力構築の実施に対する国際的な支援を強化
する

～貿易～

⑥ドーハ・ラウンド（DDA）交渉の受諾を含む

WTO（世界貿易機関）の下での普遍的でルールに基づいた、
差別的でない、公平な多角的貿易体制を促進する

※WTO 発足後初となるラウンドの開始がカタール国のドーハだったことからこう呼ば
れ、正式には、「ドーハ・開発・アジェンダ」

⑦開発途上国による輸出を大幅に増加させ、

特に 2020 年までに世界の輸出に占める後発開発途上国のシェアを倍増させる

⑧後発開発途上国からの輸入に対する特惠的な原産地規則が、

透明で簡略的かつ市場アクセスの円滑化に寄与するものとなるようにすることを含む

世界貿易機関（WTO）の決定に矛盾しない形で、

全ての後発開発途上国に対し、永続的な無税・無枠の市場アクセスを適時実施する

■世界は結びつきを重視

①技術や知識へのアクセスの改善は、

アイデアを共有し、技術革新を促す重要な方法である

②開発途上国による債務の管理を支援する政策を調整するとともに、

後発開発途上国向けの投資を推進することは、

持続可能な成長と開発の達成に欠かせない

③すべての人々に利益をもたらす、

ルールに基づく公平な普遍的取引システムの実現に欠かせない要素といえる